

令和2年度「国際園芸博覧会の横浜開催等に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q4の「横浜で「国際園芸博覧会」の開催が予定されていることをご存じですか」の質問において、「知っている」と回答された方が30.1%（358人）と低い水準に留まったことから、今年度はより多くの市民の方々に知っていただけるよう、各種イベントと連携した広報活動にも力を入れていきます。

また、Q8の「期待すること」やQ9の「参加してみたいこと」に対する回答を、広報活動やイベント企画など、当博覧会の開催に向けた事業を展開していく上での参考にさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

国際園芸博覧会に関する調査は初めてだったため、市民の方々のご意見をお聞きする貴重な機会となりました。また、自由意見において様々なご意見をいただき、非常に参考になりました。Q10の質問において64.1%（762人）の方が「横浜で開催する国際園芸博覧会に行ってみたい」と回答していただいたことから、引き続き市民の方々のご期待に沿える博覧会となるよう取り組んでいきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、「国際園芸博覧会の横浜開催等に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございました。

国際園芸博覧会に関する、当アンケートでの率直なご意見を参考にさせていただき、当博覧会開催に向けた広報PR及び機運醸成の取組を行ってまいります。

担当：都市整備局国際園芸博覧会推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。